

提 案 概 要

実施期日	7月29日(火)【午前】
部 会 名	小学校 総合的な学習の時間部会

1 提案テーマ 『協同的・探究的な学習を楽しむ子ども達の姿を目指して』

2 単元(題材) 「十歳の会」

3 学年 第4学年

4 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

①探究的な学習としての充実

・探究活動のまとまりとなる単元作成の工夫

③体験活動と言語活動の充実

・言語による整理・分析等の重視及び他者との協同した活動の工夫

5 学習指導要領との関連(内容項目)

第5章 総合的な学習の時間 第3 指導計画の作成と内容の取扱い 1(2) 2(2)

6 実践に向けての課題意識

日々家庭や学校などを舞台に生活をし、成長している子ども達、しかし子ども達自身が立ち止まってその成長を実感する機会は少ない。私たちは学年で話し合い、自己の成長を実感しつつ、それを保護者や下級生に伝える十歳の会という場を設定した。表現することが苦手だったり、照れがあったりする子どもが多いなか、子ども達が自己の成長を見ている人たちに伝え、それによって自分自身で成長を実感できる活動を、子ども達自身の手で作ってほしいという思いで実践を行った。自分たちに何ができるかを自分たちで考え、取り組み、振り返りを行い、それを基にし、自分たちに合った活動を考えさせていった。

7 実践の概要

○言語活動の充実について

劇の場面ごとにグループを設定し、話し合いながら台本を作っていた。また、演技の練習の際も演じるグループと、見るグループに分け、どう演じてよいか意見を出し合い改善していった。

○指導法の工夫

最初にとにかく子どものやりたいことをやりたいようにやらせてみた。そうすると楽しんで活動し、全員が一丸となる感じはあった。しかし時間ばかりがたち、形になっていかなかった。その後やりたいこととやるべきことの違いを考えさせながら、計画を立て、テーマに沿った活動を行わせた。

8 成果と課題

(成果) 見てくれている人たちが喜ぶ姿を通して、自分たちの成長を実感できたこと。

(課題) 教師側による、子ども達の興味・関心に基づいた活動をさせてあげたいという思いと、出来の良いもの(見てくれた人が喜ぶもの)にしたいという思いにどのように折り合いをつけるか。

9 予想される協議の柱

・活動により形としてあらわれる結果を重視するか、児童の興味・関心を重視するか、教師側の関わり方のバランスについて。

・子どもに活力をあたえるしかけをどのように工夫していくか。